

航空整備科(2年次)教育課程

2023(R5)年度用

航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人間学Ⅱ	1	20	○				○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の授業時数の合計が938時数以上であること
	英検演習Ⅱ－1	1	30		○			○		
	航空技術英語	4	60	○				○		
専門科目	航空法規等Ⅱ	1	28		○			○		
	法規関連	3	46			○		○		
	航空力学Ⅱ	1	24		○			○		
	機体Ⅱ	2	38		○			○		
	発動機Ⅱ	2	40		○			○		
	電子装備品等Ⅱ	3	50		○			○		
	基本実習Ⅱ	3	150	○					○	
	機体実習Ⅰ	5	238	○					○	
	発動機実習Ⅰ	5	206	○					○	
	装備品実習Ⅰ	4	160	○					○	
	航空機の取扱いⅠ	4	160	○					○	
計		39	1250							938以上

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名	人間学Ⅱ		担当教員名	就職キャリア支援センター ・ 明石 健一 ・ 学生支援課 (1～3回) (4～8,10回) (9回)			
授業形態	講義	授業時数	20	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	企業が求めている人材は、専門知識、技術、資格を習得しているのみでなく、それを活かすことのできる社会人の常識とマナーを身につけた人間性豊かな自ら考えることのできる技術者である。本校の教育理念「技術者たる前に良き人間たれ」に基づき、社会人として不可欠なマナー・主体性・思考力・表現力等を身につけることを目的として、必要な社会規範・知識の習得と応用訓練を行う。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、成長し続けてください。						
教科書	書名	人間学		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1※	キャリアデザイン	ガイダンス1
2※		ガイダンス2
3※		ガイダンス3
4		(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析 (3)職種・業界研究 (4)履歴書・業界研究 (5)企業採用試験 (6)履歴書確認
5		
6		
7※	グループディスカッション	グループディスカッション
8※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
9※	コンプライアンス	コンプライアンスについて
10※	奉仕活動	清掃活動など

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	航空整備科 2等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	前期
授業科目名	英検演習 II-1 (2級・準2級・3級)		担当教員名	浅井 尚美 ・ 吉田 美年子 ・ セーヌ 尚子 (2級) (準2級) (3級)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	英検合格に必要な英語力の定着のため、基礎的な文法や語彙の確認と過去問題で実践演習をする。						
到達目標 (150文字程度)	リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの4技能の英語力をバランスよく定着し、各級合格を目指す。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	企業における海外勤務者への英語指導、通訳などの実務経験 企業における英語サイト、契約書類、技術書類の翻訳などの実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職活動、就職先で求められるビジネス英語力、知識を身につける授業に取り組んでください。						
教科書	書名	英検総合トレーニング			書名		
	書名	英検過去6回問題集			書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	英検総合トレーニング	文法①、筆記1①、リスニング問題
2		文法②、筆記1②、リスニング問題
3	英検過去問	
4	英検総合トレーニング	文法③、筆記1③、リスニング問題
5		文法④、筆記2①、リスニング問題
6	英検過去問	
7	英検総合トレーニング	文法⑤、筆記2②、リスニング問題
8		筆記3①、リスニング問題
9	英検過去問	
10	英検総合トレーニング	筆記3②、リスニング問題
11		筆記4①、リスニング問題
12	英検過去問	筆記4②、リスニング問題
13	英検総合トレーニング	筆記4③、リスニング問題
14		筆記4④、リスニング問題
15		ミニテスト

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名	航空技術英語			担当教員名	市原 敏朗		
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空整備士、航空技術者にとって必要な英文ベンター・マニュアルの読解力を養うとともに、その構成基準を理解し、整備マニュアルを通じて航空機への知識を深め、航空機整備士に必要な技術英語の読解力向上を目指す。						
到達目標 (150文字程度)	技術基準の英文メンテナンスマニュアル構成、英文の表現と航空機システムについて習得しマニュアル読解力を上げる。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	定期航空運送事業会社での航空機整備実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	1.航空用語・単語の辞書作りを行なうとともに、英文マニュアル触れ、何度も読み込み技術英語に慣れましょう。 2.マニュアル読解の課題を与え、それを個人やチームで発表する形式を取り入れます。 3.英和辞典必携						
教科書	書名	新 これから学ぶ航空機整備英語マニュアル			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1章 この本の構成	1-1 英文法について
2		1-2 AMM IPCについて
3	2章 略語について	
4	3章 英文マニュアルを読むための英文法	3-1 まずは次の整備マニュアルを読んでみよう
5		3-2 文法用語を振り返ろう
6		3-3 品詞についてもうすこし補足します
7		3-4 英文の成り立ちを理解しよう
8		3-5 英文マニュアルでよく使われる主要構文
9		3-6 文意の拡張のルールについて理解しよう
10		3-7 数値表現を理解しよう
11	4章 AMMの読み方	4-1 はじめに
12		4-2 手順書
13		4-2-1 BRAKEの点検手順
14		4-2-2 ENGINE OIL QUANTITYの手順書
15		4-3 不具合
16		4-3-1 CO-PI 側のDUがBLINKING DISPLAY UNITの交換
17		4-3-2 NO4 BRAKEのWEAR BRAKE UNITの交換
18		4-3-3 L ENGのOIL LEVELが若干LOW
19	5章 IPCの読み方	5-1 IPCとは (Illustrated Parts Catalog :部品リスト)
20		5-2 正しい部品を選択するために
21		5-3 基本的なIPCの読み方
22		5-4 IPC NOMENCLATURE欄の頻出表現
23	6章 その他	6-1 MEL (Minimum Equipment List:運用許容基準)
24		6-2 CDL (Configuration Deviation List:パネル等の構造部品欠落の許容基準)
25		6-3 航空日誌の書き方
26		6-4 SQUAWK CARDの書き方 (航空機の不具合処理記録)
27		6-5 SB (Service Bulletin)
28		6-6 AD (Airworthiness Directive:耐空性改善命令)
29		6-7 予備品証明相当外国書式
30	7章 付録	7-1 線や図形の表し方 7-2 図形の表し方 7-3 位置の表し方 7-4 方位の表し方

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	前期
授業科目名	航空法規等Ⅱ			担当教員名	田口 重信		
授業形態	講義	授業時数	28	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空従事者として、知っておかなければならない航空に関する「国際条約、国内法及び人間の能力の限界に関する一般知識」について習得する。						
到達目標 (150文字程度)	整備士資格取得に必要な基礎知識を習得する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	なし				
	100%						
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空法規等Ⅰに基づき、学科試験合格のための授業を行うので、復習を欠かさないでください。						
教科書	書名	航空法規(整備士用抜粋)			書名	ヒューマンファクターの基礎	
	書名	航空機の基本技術			書名	航空法規等(整備士用)演習問題集	
参考書	書名	航空6法			書名	サーキュラー	
	書名	耐空性審査要領			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1～14	レビュー	1. 国内法全般のレビュー 2. 人間の能力と限界に関する一般知識全般のレビュー

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)					開講時期	2年次	後期
授業科目名	法規関連			担当教員名	清水 岳志			
授業形態	講義	授業時数	46	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空法及び航空法関連法の実務的運用の知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
	筆記試験	レポート						
	100%							
教員実務経験	航空機運航会社において航空機整備の実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	1年次で学んだ航空法の知識をベースにして運用の仕方を学ぶため、学科試験合格後も内容をまとめて理解してください。							
教科書	書名	航空機の基本技術			書名			
	書名	法規関連 サブテキスト			書名			
参考書	書名	航空機検査業務 サークュラー集			書名			
	書名	航空法規集			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 航空法	1.航空関連法規2.航空法3.航空法の基本的理念4.航空法の内容
2		5.航空法体系6.国土交通省告示及びサーキュラー7.製造者のマニュアル
3	2. 航空機の整備作業に関係する法規	1.電波法2.高圧ガス保安法3.航空機製造事業法
4	3. 航空機の登録	1.航空機の登録2.航空機登録原簿への記載事項3.国籍及び登録記号の打刻
5		4.識別板の取り付け5.国籍及び登録記号の表示
6	4. 耐空証明	1.耐空証明
7		2.耐空証明検査3.耐空検査員
8		4.耐空証明検査時に必要な書類及び手続き要領
9		4.耐空証明検査時に必要な書類及び手続き要領
10		5.耐空証明の有効期間6.運用限界等指定書
11		7.飛行規程の記載事項
12		8.整備改造命令、耐空証明の効力の停止
13		9.耐空性改善通報
14		10.試験飛行等の許可11.輸出耐空証明書
15	まとめ	進捗度確認(2時数)No1
16	5. 型式証明6. 追加型式証明	1.型式証明1.追加型式設計の承認2.同等追加型式設計の承認
17	7. 修理改造検査	1.修理改造検査2.修理又は改造について
18		3.修理改造検査の対象範囲4.検査
19	8. 予備品証明	1.予備品証明
20		2.予備品証明の検査3.予備品証明を受けたとみなす装備品
21		4.予備品証明の失効5.装備品再使用の注意、装備品等の貸借
22		6.型式承認及び仕様承認7.安全証明書及び適合証明書
23	まとめ	進捗度確認(2時数)No2

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	前期
授業科目名	航空力学Ⅱ			担当教員名	佐川 次男		
授業形態	講義	授業時数	24	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)として必要な流体力学の基礎、航空機の飛行原理および空力特性等の航空力学の基礎知識を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	なし				
	100%						
教員実務経験	定期運送航空会社に於いて航空機整備の実務経験。						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空機が空を飛ぶ大本の専門知識であり、飛ぶために種々の構造機能は航空機特有の部分があることを踏まえ航空力学の知識を自分のものにしてください。						
教科書	書名	航空工学講座 1 航空力学			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授 業 計 画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 重量及び搭載	1. 重量及び重心位置
2		2. 航空機の重量(1)重量の定義(2)重量の区分
3		3. 航空機の重心(1)重心位置の移動許容限界(2)重心位置の表示(3)重心位置の算出
4		復習・小テスト
5	まとめ	進捗度確認(2時数)No1(高速航空力学含む)
6	2. 飛行機の航空力学	1. 航空力学の基礎2. 翼と翼型
7		3. 揚力と抗力4. 安定性
8		5. 舵面と操縦性6. 性能
9		7. 高速空気力学8. 重量及び搭載
10	3. レビュー	1. 航空力学全般のレビュー(1)
11		2. 航空力学全般のレビュー(2)
12		3. 航空力学全般のレビュー(3)

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)					開講時期	2年次	前期
授業科目名	機体 II			担当教員名	市原 敏朗			
授業形態	講義	授業時数	38	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の航空従事者(学科)国家試験の合格を目標とし航空機材料・航空機構造・航空機システムで学んだ基礎事項の確実な理解と応用を講義により行う。							
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の航空従事者(学科)国家試験の合格							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験		レポート					
	100%							
教員実務経験	定期航空会社にて航空機整備の実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の航空従事者(学科)国家試験の合格を目標とし航空機材料・航空機構造・航空機システムで学んだ基礎事項の復習と理解を深めて下さい。							
教科書	書名	航空工学講座2 飛行機構造				書名	航空工学講座4 航空機材料	
	書名	航空工学講座3 航空機システム				書名	航空機の基本技術	
参考書	書名					書名		
	書名					書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 飛行機に加わる荷重	1. 水平直線飛行時の荷重 2. 荷重倍数 3. 水平尾翼と補助翼の荷重
2		4. 地上荷重 5. エンジンによる荷重 6. 安全率
3	2. 飛行機の機体構造	1. 基本構造の種類 2. 胴体
4		3. 窓、ドア及び座席 4. 主翼
5		5. 尾翼 6. 動翼
6	3. 着陸系統	1. 着陸装置の種類 2. 脚引込装置
7		3. 前輪式及び尾輪式 4. 主脚
8	4. 操縦系統	1. 人力操縦装置 2. 動力操縦装置
9		3. 主操縦系統
10		4. 補助操縦系統
11	5. 機械工学要項	1. 機械材料学要項
12		2. 航空機材料 3. 材料力学
13		4. 機構学要項
14		5. 非破壊検査
15	6. 燃料系統	1. 燃料系統の機能と構成
16	7. 油圧系統	1. 油圧回路及び系統部品
17	8. その他の系統	1. ニューマチック系統 2. エアコンデショニング系統
18		3. 防除氷系統 4. 防火系統 5. 酸素系統
19		6. 給・排水系統 7. 補助動力装置

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)					開講時期	2年次	前期
授業科目名	発動機Ⅱ			担当教員名	林 文明			
授業形態	講義	授業時数	40	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	発動機Ⅰで学んだ基礎事項の確実な理解と応用を講義と演習により学び、国家試験(学科)に合格するための必要な知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得し、国家試験(学科)に合格する。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	なし					
	100%							
教員実務経験	航空機使用事業会社における航空機整備の実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	国家試験(学科)に合格するためには、自主的に学び日々努力してください。							
教科書	書名	航空工学講座5 ピストン・エンジン				書名		
	書名	航空工学講座6 プロペラ				書名		
参考書	書名	発動機Ⅰ サブテキスト				書名	航空整備士学科試験問題集(解答編)	
	書名	航空整備士学科試験問題集(問題編)				書名		

授 業 計 画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. ピストン・エンジンの一般	1. サイクルと行程 2. 4サイクルエンジン及び2サイクル・エンジン 3. シリンダ圧力とエンジン出力 4. 4サイクル・エンジンの弁開閉時期
2	2. 熱力学	1. 熱量と仕事 2. 完全ガスの性質と状態変化 3. 内燃機関の基本サイクル
3	3. ピストンエンジンの主要構造部	1. 対向型エンジンの主要構造
4		2. バルブ作動機構
5		3. 補機駆動機構 4. プロペラ駆動機構
6	4. エンジン力学	1. ピストン速度 2. エンジンの釣合
7	5. ピストンエンジンの各種系統	1. 吸気系統
8		2. 点火系統
9		3. 過給系統 4. 冷却系統 5. 燃料系統
10		6. 潤滑系統 7. 始動系統 8. 補機系統
11	6. 潤滑	1. オイルの目的 2. オイルの規格および成分
12	7. 燃料及び燃焼	1. 揮発性 2. アンチノック性
13		3. デトネーション 4. 早期着火
14	8. エンジンの性能	1. 出力及びその計算法
15		2. 燃料消費率および混合比 3. 大気の状態と出力の関係
16		4. エンジンの一般運用法 5. エンジンの試験(運転)
17		1. プロペラの基礎
18	9. プロペラ	2. プロペラに働く力と振動
19		3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置
20		5. 実用プロペラ 6. プロペラの付属品および指示系統 7. プロペラの整備

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目						
学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	前期
授業科目名	電子装備品等Ⅱ			担当教員名	武藤 康彦		
授業形態	講義	授業時数	50	単位数	3	選択必修区分	必須
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1年次の復習と二等航空整備士(飛行機)として必要な基礎知識の確立と学科試験に必要な知識の習得を目的に教育を実施する。						
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	航空機輸入販売会社において航空機用無線機器整備の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	1年次の復習が基本となるので理解できなかった部分を質問し、理解するようにしてください。						
教科書	書名	航空工学講座8 航空計器			書名	航空工学講座10 航空電子・電気装備	
	書名	航空工学講座9 航空電子・電機の基礎			書名		
参考書	書名	電子装備品等ⅠA サブテキスト			書名		
	書名	電子装備品等ⅠB サブテキスト			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 航空計器	1. 計器一般2. 空盒計器
2		2. 空盒計器
3		3. ジャイロ計器
4		4. 圧力計器5. 温度計器
5		6. 磁気計器
6		7. 集合計器8. 統合電子計器
7	2. 航空電子装備	1. アンテナと電波伝搬2. 通信システム
8		3. 航法システム(1)ADF(2)VOR(3)DME
9		(4)ILS(5)ATCTランスポンダ
10		(6)気象レーダー(7)電波高度計(8)TCAS
11		4. 記録装置5. 警報システム 6. ELT
12		7. 自動操縦装置
13		7. 自動操縦装置
14	3. 航空電気	1. 電気・電子の基礎(1)静電気
15		(2)電圧、電流、抵抗
16		(2)電圧、電流、抵抗
17		(2)電圧、電流、抵抗(3)磁気
18		(4)交流回路
19		(5)電子部品・回路
20		2. 航空電気装備(1)電気配線(2)電気部品
21		(3)バッテリー
22		(3)バッテリー
23		(4)発電機
24		(5)電動機
25		(6)電源系統(7)電気系統コントロール

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科 目 区 分 専門科目

学科・コース名		航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名		基本実習Ⅱ		担当教員名	明石 健一 ・ 基本実習グループ			
授業形態		実習	授業時数	150	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		1年次で学んだ、航空整備に関する基本技術の知識・技能について深度を高め、3年次に2等航空整備士を取得すべく、レベルアップを行う。						
到達目標 (150文字程度)		二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。						
評価方法		定期試験		その他の評価方法				
		筆記試験	レポート	なし				
		100%						
教員実務経験		航空運送事業において航空機整備の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)		実習中は、安全に対する配慮や一つひとつの作業を確実にに行い、また、工具類の整理・整頓を心掛けてください。 目的意識を持って受講し、また、常に疑問を持ち、考える習慣をつけてください。 自分の意見を持ち、説明できる力を養ってください。						
教科書		書名	航空機の基本技術			書名		
		書名				書名		
参考書		書名	航空機の基本技術トレーニング・ガイドⅥ			書名		
		書名	航空機整備作業の基準(AC43.13-1B/2A)			書名		
授 業 計 画 (各回ごとの項目と内容について)								
回=90分	項目		内容					
1 ～ 2	1. 作図知識		1. 作図一般					
3	2. 成形法		1. 曲げ作業における注意事項					
4 ～ 6			2. アングル製作 (1)展開長の計算 (2)ケガキ (3)切断及び板曲げ (4)検査					
7	まとめ		進捗度確認 No1					
8 ～ 17	3. リベット		1. ソリッド・シャンク・リベットの除去作業 2. リベッティング及びリムーブ作業					
18	まとめ		進捗度確認 No2					
19	4. 構造修理		1. 準拠すべき技術基準 2. 航空機構造の負荷分類 3. 損傷部の処置の仕方					
20			4. 構造修理の基本原則 5. リベットの選定要素					
21			6. 修理に必要なリベット数の求め方7. リベット配置					
22			8. その他の注意事項					
23 ～ 24			9. オーバー(八角)パッチの修理					
25 ～ 34			10. オーバー(八角)パッチの作成 (1)ケガキ&ボンチング (2)ニューマチック・ドリルによる穴あけ (3)端面仕上げ (4)防食処理 (5)リベッティング及び検査					
35			11. フラッシュ・パッチの修理法					
36			12. スプライス修理法					
37	まとめ		進捗度確認 No3					
38	まとめ		進捗度確認 No4					
39	5. ホース・チューブ		1. チューブ製作手順					
40			2. 中圧ホースの組立て					
41 ～ 44			3. チューブ・アセンブリの製作					
45	まとめ		進捗度確認 No5					
46	6. 電気工作		1. 航空機用電線					
47			2. 航空機の電気配線方法					
48			3. 接地とボンディング					

回=90分	項目	内容
49 ～ 51	6. 電気工作	4. 電線作業 (1)ワイヤ・ストリッピング (2)はんだ付け (3)銅ターミナル及び銅線の接合方法 (4)スプライスのクリンピング・AMPスプライスのクリンピング (5)コネクタ ード・クリンピング・ツールによるコンタクトのクリンピング
52 ～ 53		6. 電気配線作業 (1)ワイヤ・ストリッピング (2)AMPターミナル・スプライス作業 (3)電線の支持及び結束 (4)はんだ付け(5)コネクタの組立て
54	まとめ	進捗度確認 No6
55	7. 非破壊検査	1. 浸透探傷検査 2. 磁粉探傷検査 3. 超音波探傷検査 4. 渦流探傷検査 5. 放射線透過検査
56 ～ 57		6. 非破壊検査作業
58 ～ 61	8. 総合	1. 機械計測 (1)ダイヤル・ゲージ (2)シリンダ・ゲージ (3)シリンダ測定
62 ～ 73		2. 総合実技 (1)機械計測 (2)電気計測 (3)ケーブル作業 (4)締結作業 (5)リベット作業
74	まとめ	進捗度確認 No7
75	まとめ	進捗度確認 No8

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名	機体実習 I			担当教員名	佐川 次男		
授業形態	実習	授業時数	238	単位数	5	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ビーチクラフト式E33型機の各系統の分解、検査、調整、組み立て及び故障探求要領について学ぶ。一部のシステムについてはセスナ式310型機を用いて理解を深める。						
到達目標 (150文字程度)	実機の機体構造、各システムにそれぞれ装備されている構成品の名称、機能、目的、作動および操作方法を習得して説明が出来るようにする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	なし				
	100%						
教員実務経験	エアラインにおいて航空機整備の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	努力は報われる。目指せ一流の航空整備士！						
教科書	書名	E33トレーニングガイド(中日本航空専門学校)			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	飛行機構造(日本航空技術協会)			書名	BEEHCRAFT BONANZA SHOP MANUAL	
	書名	航空機システム(日本航空技術協会)			書名	BEEHCRAFT BONANZA IPC	
	書名	BEEHCRAFT BONANZA FLIGHT MANUAL			書名	航空整備作業の基準(AC43.13-1B/2A)	

授 業 計 画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 機体構造	1. 機体構造の概要 (1)概要 (2)一次・二次構造及び非構造
2		(3)胴体及びドア構造 (4)ウィンド及びウィンド・シールド (5)非常脱出口
3		(6)主翼構造
4		(7)尾部構造 (8)機体の材質
5		3. 翼の取外し、取付け方法 (1)主翼 (2)尾翼
6		(2)尾翼
7		2. 主要部品の構成、機能及び作動 (1)ドアの開閉及びロック機構 (2)窓及び非常脱出口の点検・サービス
8		(3)主翼取付け部のリトルク (4)ドアの作動点検及び取外し、取付け
9		(5)故障探求
10		1. 操縦室、客室の概要及び構成
11		2. 主要部品の取付け位置
12		3. 主要部品の交換及び整備・検査 (1)シート、シート・ベルトの取外し、取付け (2)非常用装備品の整備・検査
13	2. 客室系統	
14		
15		
16		
17	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
18	3. 空気調和系統	1. 空気調和系統の概要、装備目的及び構成2. 主要部品の取付け位置 (1)ヒーティング・システム (2)ベンチレーティング・システム
19		3. ヒーティング・システム (1)概要、目的及び構成 (2)主要部品の機能及び系統の作動と 操作
20		(2)主要部品の機能及び系統の作動と 操作4. ベンチレーティング・システム (1)概要 (2)主要部品の機能及び系統の作動と 操作
21		5. 与圧制御システム
22		
23		
24		6. 主要部品の交換及び整備・検査 (1)ヒータ・マフラの取外し、取付け (2)排気系統の検査・整備 (3)試運転による作動試験
25		
26		
27		(4)故障探求

回=90分	項目	内容
28	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
29	4. 操縦系統	1. 操縦系統の概要、目的及び構成 (1)プライマリ・フライト・コントロール (2)セカンダリ・フライト・コントロール
30		2. 操縦系統主要部品の機能及び作動 (1)コントロール・コラム3. 主要部品の交換及び整備・検査要領 (1)コントロール・コラム
31		2. 操縦系統主要部品の機能及び作動 (2)エルロン・システム
32		(2)エルロン・システム
33		(3)エルロン・トリム・システム
34		(4)ラダー・システム
35		(5)エレベータ・システム
36		(6)エレベータ・トリム・システム3. 主要部品の交換及び整備・検査要領 (5)エレベータ・トリム・システム
37		2. 操縦系統主要部品の機能及び作動 (7)フラップ・システム a. フラップ・システム b. 指示系統
38		(8)固定タブ (9)ストール・ワーニング・システム
39		3. 主要部品の交換及び整備・検査要領 (2)エルロン・システム
40		(3)ラダー・システム
41		(4)エレベータ・システム
42		(6)フラップ・システム
43		1. 操縦系統の概要、目的及び構成 (3)主要部品の取付位置
44		4. 主要部品の交換及び作動試験
45		(1)エルロン (2)ラダー (3)エレベータ (4)フラップ (5)フライト・コントロールの作動試験
46～55		
56	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
57	5. 燃料系統	1. 燃料系統の概要、目的及び構成
58		2. 主要部品の取付け位置
59		3. 燃料系統主要部品の機能及び作動 (1)フューエル・フィード・システム
60		(1)フューエル・フィード・システム
61		(2)フューエル・リターン・システム
62		(3)フューエル・ベント・システム
63		(4)フューエル・クオンティティ・インディケーション・システム
64		(5)フューエル・クロス・フィード・システム
65		4. 主要部品の交換及び整備・検査方法5. 燃料タンクの修理要領
66		
67	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
68	6. 防除氷系統	1. 防除氷系統の概要、目的及び構成 (1)翼防除氷システム
69		(2)プロペラ防除氷システム
70		(3)ストール・ワーニング・センサ防除氷システム (4)ピトー防除氷システム
71		(5)主要部品の取付け位置
72		2. 主要部品の構成、機能及び作動 (1)翼防除氷システム
73		(2)プロペラ防除氷システム
74		3. 主要部品の交換、整備・検査及び作動試験4. 故障探求
75		
76	まとめ	進捗度確認(2時数) No5
77	7. 着陸装置系統	1. 着陸装置系統の概要、目的及び構成 (1)前脚、主脚、脚扉 (2)リトラクション・システム
78		(3)ホイール及びタイヤ (4)ブレーキ・システム (5)ステアリング・システム
79		(6)指示系統及びウォーニング・システム
80		(7)主要部品の取付け位置
81		2. 着陸装置系統主要部品の機能及び作動 (1)前脚、主脚、脚扉 (2)リトラクション・システム a. 動力源とリンク機構 b. 電気回路
82		(2)リトラクション・システム a. 動力源とリンク機構 b. 電気回路
83		b. 電気回路 c. 非常脚下げ機構
84		(3)ホイール及びタイヤ (4)ブレーキ・システム
85		(5)ステアリング・システム (6)シミール・ダンパ
86		(7)指示系統及びウォーニング・システム
87		3. 主要部品の交換及び整備・検査要領
88		
89		
90		

回=90分	項目	内容
91～106	7. 着陸装置系統	4. 主要部品の整備及び検査 (1)前脚、主脚、脚扉の取外し、取付け～(7)シミー・ダンパの取外し、取付け
107	まとめ	進捗度確認(2時数) No6
108	8. 油圧系統	1. 主要部品の構成、機能及び作動 (Hyd Power Supply)
109		
110	9. 酸素系統	1. 酸素系統 (1)概要、目的 (2)構成、機能及び作動
111		(3)主要部品の取付け位置
112		2. 酸素系統主要部品の機能及び系統の作動と操作
113		3. 主要部品の整備・検査方法 (1)必要酸素量の決定 (2)整備と作業安全 (3)サービシング
114		(4)酸素系統のサービシング
115	まとめ	進捗度確認(2時数) No7
116	10. レビュー (No1)	1. 機体実習全般レビュー
117	10. レビュー (No2)	
118	10. レビュー (No3)	
119	10. レビュー (No4)	

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名		航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名		発動機実習 I		担当教員名	向井 祐輔・飛行機グループ			
授業形態		実習	授業時数	206	単位数	5	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		ビーチクラフト式E33、セスナ式310の発動機の構造・機能の概要と構成システムを中心として学ぶと共に、具体的な整備の方法を学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)		1年次のピストン・エンジンの教育で得た知識を復習しながら、実機エンジンについての知識を身に付け、E33エンジンを主として各系統の概要、構成品の構造・機能、構成システムの作動が説明できるようにする。また実技教育では、オイル交換、スパーク・プラグの点検清掃、コンプレッション点検やトップ・オーバーホール作業において、適時技術資料を使用して確実に作業と故障探求が実施できるようにする。						
評価方法		定期試験		その他の評価方法				
		筆記試験	レポート	なし				
		100%						
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)		努力は報われる。目指せ一流の航空整備士！						
教科書		書名	E33トレーニングガイド(中日本航空専門学校)			書名		
		書名				書名		
参考書		書名	ピストン・エンジン(日本航空技術協会)			書名	CONTINENTAL FUEL INJECTION MANUAL	
		書名	プロペラ(日本航空技術協会)			書名	MACAULEY SERVICE MANUAL	
		書名	航空整備作業の基準(AC43.13-1B/2A)			書名	HARTZELL SERVICE MANUAL	
		書名	BEECHCRAFT BONANZA SHOP MANUAL Vol1.2			書名	SLICK SERVICE MANUAL	
		書名	BEECHCRAFT BONANZA IPC			書名	その他 MANUAL	
		書名	CONTINENTAL OVERHAUL MANUAL			書名	BEECH E33 POH、E33 FLT MANUAL	
		書名	CONTINENTAL IPC			書名		
授 業 計 画 (各回ごとの項目と内容について)								
回=90分	項目		内容					
1	1. 発動機		1. 主要諸元 (1)名称及び型式 (2)運転限界及び性能					
2			(1)名称及び型式 (2)運転限界及び性能					
3			(2)運転限界及び性能 (3)シリンダ・ナンバー、カラーコード					
4～15			2. 構造の概要					
16			3. 主要部品の取付け位置					
17	まとめ		進捗度確認(2時数) No1					
18	2. プロペラ		1. コンスタント・スピード・プロペラ (1)装備目的、名称及び型式 (2)構造の概要					
19			(3)主要部品の構成、機能及び作動 a. プロペラ					
20			b. ガバナ					
21			c. コントロール					
22			2. フェザリング・プロペラ (1)装備目的、名称及び型式 (2)構造の概要					
23			(3)主要部品の構成、機能及び作動					
24			3. シンクロ・システム4. 主要部品の取付け位置					
25			5. システムの作動 (1)ピッチ変更機構の作動 (2)ガバナの作動					
26								
27								
28	まとめ		進捗度確認(2時数) No2					
29	3. 発動機の構成システム		1. エンジン・オイル、及びイグニッションシステム (1)概要及びオイルの流れ					
30			(1)概要及びオイルの流れ					
31			(2)主要部品の機能 a. オイル					
32			b. オイル・ポンプ c. リリーフ・バルブ					

回=90分	項目	内容
33	3. 発動機の構成システム	b. 滑油温度計 e. 滑油圧力計
34		(3)主要部品の取付け位置
35		(4)主要部品の検査及び交換 a. オイル交換要領
36		a. オイル交換要領
37		(5)イグニッション・システム概要及び主要部品の機能 a. マグネット
38		a. マグネット
39		
40		b. ハーネス
41		c. スパーク・プラグ
42		d. イグニッション・スイッチ (2) 主要部品の取付け位置
43		(3)主要部品の検査及び交換b.オイル交換作業
44		
45		(4)スパーク・プラグ整備・検査a.スパークプラグ整備・検査
46		
47		
48		
49	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
50	3. 発動機の構成システム	3. フューエル・システム (1) 概要及び燃料の流れ
51		(1)概要及び燃料の流れ
52		(2)主要部品の機能 a. フューエル・ポンプ b. フューエル・コントロール・ユニット
53		
54		c. マニフールド・バルブ d. ノズル e. 燃料流量計
55		(3)主要部品の取付け位置
56		3. エンジン・エア・システム (1) インダクション・エア・システムの概要
57		(2)主要部品の機能 a. エア・インテーク・フィルタ b. オルターネート・エア・バルブ
58		c. スロットル・フライ d. 吸気圧力計
59		(3)クーリング・エア・システムの概要 a. クーリング・エアの流れ b. バッフル・プレート
60		(4)主要部品の取付け位置
61		5. インジェクション・システム (1) 概要 (2) 回転計
62		(3)シリンダ温度計
63		(4)主要部品の取付け位置
64		6. スターティング・システム (1) 主要部品の概要及び機能 a. スターティング機構 b. 電気回路
65		c. スタータ・モータ d. スイッチ及びリレー (2) 主要部品の取付け位置
66		7. その他のシステム (1) エンジン・コンパートメント (2) エンジン・コントロール
67		(3)排気系統 (4) 主要部品の取付け位置
68	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
69	4. 発動機の整備・検査方法	1. 主要部品の交換及び整備・検査 (1)コンプレッション点検
70		(2)コンプレッション点検作業
71		(3)トップ・オーバーホール a. 実施理由、オーバーホール要領及びトルク表
72		
73		a. 実施理由、オーバーホール要領及びトルク表
74		
75		b. トップ・オーバーホール
76～92		
93		(4)オーバー・スピード2. 故障探求
94	まとめ	進捗度確認(2時数) No5
95	5. レビュー (No1)	1. 発動機実習全般レビュー
96	5. レビュー (No2)	
97	5. レビュー (No3)	
98	5. レビュー (No4)	
99	5. レビュー (No5)	
100	5. レビュー (No6)	
101	5. レビュー (No7)	
102	5. レビュー (No8)	
103	5. レビュー (No9)	

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名		航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名		装備品実習 I		担当教員名	風岡 輝徳 ・ 飛行機グループ			
授業形態		実習	授業時数	160	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		ビーチクラフト式E33型機及びセスナ式310型機の各電気・電子装備の主要部品の構成、機能及び作動等について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)		1年次の装備品の教育で得た知識を復習しながら、実機装備品についての知識を身に付け、各系統の説明、及び構成品の構造、機能、作動が説明できるようにする。 また実技教育では、適時技術資料を使用して確実に3年次に受験審査実施される資格取得での整備士実施作業とロケーション確認及び故障探求、作動・機能試験が実施できるようにする。						
評価方法		定期試験		その他の評価方法				
		筆記試験	レポート					
		100%		なし				
教員実務経験		エアラインに及び指定養成施設において航空機整備の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)		努力は報われる。目指せ一流の航空整備士！						
教科書		書名	E33トレーニングガイド(中日本航空専門学校)			書名		
		書名				書名		
参考書		書名	航空計器 (日本航空技術協会)			書名	BEEHCRAFT BONANZA SHOP MANUAL	
		書名	航空電気装備 (日本航空技術協会)			書名	BEEHCRAFT BONANZA IPC	
		書名	航空電子装備 (日本航空技術協会)			書名	CESSNA310 SERVICE MANUAL	
		書名	航空整備作業の基準(AC43.13-1B/2A)			書名	CESSNA310 IPC	
		書名	航空整備士ハンドブック(日本航空技術協会)			書名	CESSNA310 OWNERS MANUAL	
		書名	航空機の基本技術 (日本航空技術協会)			書名	その他 MANUAL	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 自動操縦装置系統	1. 自動操縦装置系統の概要、目的及び主要部品の構成
2		1. 自動操縦装置系統の概要、目的及び主要部品の構成2. 主要部品の取付位置
3		3. 自動操縦装置系統の機能及び作動 (1)フライト・ディレクタ (2)オート・パイロット
4		(1)フライト・ディレクタ (2)オート・パイロット
5		
6		(2)オート・パイロット (3)指示系統及びウォーニング・システム
7	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
8	2. 通信系統	1. 通信系統の概要、目的及び主要部品の構成 (1)VHF通信システム (2)機内通信システム
9		2. 主要部品の取付け位置3. 系統の機能及び作動 (1)VHF通信システム (2)機内通信システム
10		3. 系統の機能及び作動 (1)VHF通信システム
11	3. 電源系統	1. 電源系統の概要、目的及び主要部品の構成
12		1. 電源系統の概要、目的及び主要部品の構成2. 電源の優先順位
13		3. 主要部品の取付け位置
14		4. 電源系統主要部品の機能及び作動 (1)DC電源回路
15		(2)主要部品 a. バッテリ b. バッテリ・スイッチ
16		c. バッテリ・リレー d. バス・バー
17		e. オルタネータ f. ボルテージ・レギュレータ g. オルタネータ・サーキット・ブレーカー
18		h. アンメータ i. オーバー・ボルテージ・ウォーニング・システム j. 外部電源
19		(3)AC電源系統の概要
20		5. 並列電源系統の概要、目的及び主要部品の構成
21		(1)主要部品の取付け位置
22		(2)電源回路図
23		(3)構成品の定格、機能及び作動 a. ジェネレータ b. ボルテージ・レギュレータ
24		

回=90分	項目	内容
25	3. 電源系統	a. ジェネレータ b. ボルテージ・レギュレータ
26		c. パラレルリング・レジスタ d. リバース・カレント・リレー
27		
28		6、主要部品の検査及び交換 (1) バッテリーの点検整備
29		
30		(2) ALT・ベルト・テンションの調整
31		
32		(3) 電圧調整要領
33		
34		(4) 故障探求
35		
36	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
37	4. 計器系統	1. 計器系統の概要、目的及び主要部品の構成 (1) 計器板 (2) 飛行計器、航法計器など
38		(3) フローティング・パネル (4) グレア・シールド
39		(5) 主要部品の取付け位置
40		2. ビトー・スタティック系統主要部品の機能及び作動 (1) ビトー・スタティック系統
41		(2) 系統の主要部品 a. 高度計 b. 速度計 c. 昇降計
42		(2) 系統の主要部品 d. ビトー・チューブ e. スタティック・ポート及びエマージェンシ・スタティック・ポート
43		(3) 主要部品の取付け位置
44		3. プレッシュヤ系統主要部品の機能及び作動 (1) プレッシュヤ系統
45		(2) 系統の主要部品 a. 定針儀 b. 水平儀 c. ターン・コーディネータ
46		d. プレッシュヤ・ポンプ e. プレッシュヤ・レギュレータ f. フィルタ
47		(3) 主要部品の取付け位置
48		4. その他計器 (1) 磁気コンパス (2) 外気温度計、時計
49		(3) コーション・アンド・アナンシエータ・パネル
50		5. 主要部品の検査及び交換 (1) ビトー・スタティック系統リーク・テスト
51		
52		(2) プレッシュヤ系統の圧力調整
53		
54		(3) コンパス・スウィング
55		
56		(4) 故障探求
57	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
58	5. 照明系統	1. 照明系統の概要、目的及び主要部品の構成 (1) 外部照明 a. NAV、BEACON、LDG (2) 内部照明 a. 計器、無線機、計器板 b. 室内照明
59		2. 主要部品の取付け位置
60		3. 照明系統の機能及び作動
61		4. 主要部品の検査及び交換
62	6. 航法系統	1. 航法系統の概要、目的及び主要部品の構成 (1) ADF (2) VOR
63		(3) DME (4) ATCトランスポンダ
64		(5) ILS
65		(6) ELT (7) アンテナ
66		
67		2. 主要部品の取付け位置
68		3. 航法系統の機能、作動及び操作 (1) ADF (2) VOR
69		(1) ADF (2) VOR
70		(3) DME (4) ATCトランスポンダ
71		
72		(5) ILS
73		(6) ELT
74		
75		4. 作動試験 (1) 航法装置作動試験
76	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
77	7. レビュー No1	1. 装備品実習全般レビュー
78	7. レビュー No2	
79	7. レビュー No3	
80	7. レビュー No4	

2023 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機ピストン専攻)				開講時期	2年次	通年
授業科目名	航空機の取扱い I		担当教員名	平田 和裕・飛行機グループ			
授業形態	実習	授業時数	160	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ビーチクラフト式E33型機の地上の取扱い方法、日常点検、試運転、法定検査、及び航空機の安全管理、航空機整備管理要領について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	1. 取扱い 2. 業務範囲 3. 整備の方法 4. 飛行規程 5. 点検作業 6.点検作業実習(飛行前点検)について航空従事者として、定められた規定・規則を遵守し、航空機の取扱いは安全を第一とする行動が出来るように育成する。且つ航空機整備の取扱いを習得する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	なし				
	100%						
教員実務経験	エアラインにおける航空機整備の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	努力は報われる。目指せ一流の航空整備士！						
教科書	書名	E33トレーニングガイド(中日本航空専門学校)			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	航空機の基本技術 (日本航空技術協会)			書名	BEEHCRAFT BONANZA SHOP MANUAL Vol1.2	
	書名	航空整備作業の基準(AC43.13-1B/2A			書名	BEEHCRAFT BONANZA IPC	
	書名	航空法規集 (鳳文書院出版)			書名	BEEHCRAFT BONANZA FLIGHT MANUAL	
	書名	航空機検査業務サーキュラー集(鳳文書院出版)			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 取扱い	1. ディメンジョン及びエリア(1)全長、全幅、全高、上反角等(2)ステーション・ナンバーの基準点及び表示方法 a. ボディー・ステーションへe. センター・ライン
2		
3		2. ジャッキ・アップ(1)ジャッキ・ポイントの位置(2)ジャッキの容量(3)ジャッキ・アップ作業要領
4		
5		(4)ジャッキ・アップ作業
6		
7		3. レベリング(1)レベリング・ポイントの位置(2)レベリング作業要領
8		
9		(3)レベリング作業
10		4. トーイング(1)トーイングの方法(2)注意事項
11		
12		(3)トーイング作業
13		5. 駐機(1)駐機の作業要領
14		
15		(2)駐機作業
16		6. サービシング(1)給油(2)エンジン・オイル、作動油(3)滑油、グリース
17		(4)その他のサービス
18		
19		
20		(5)機体へのサービシング
21		
22		
23		
24		(6)防錆保管
25		
26	まとめ	進捗度確認(2時数) No1

回=90分	項目	内容
27	2. 業務範囲	1. 技能証明に限定される航空機の等級に関する事項2. 系列型機に関する事項3. 航空機検査業務に関する事項
28	3. 整備の方法	1. Airworthiness Limitation (1) 目的 (2) 記載事項2. 整備方式 (1) AMMに定める整備方式
29		(2) 社内規定による整備方式 (3) エンジンの整備方式3. 整備の段階 (1) 運航整備に関する事項
30		(2) 定期整備に関する事項 (3) 特別点検項目4. 運用許容基準 (1) 条件、整備上の措置 (2) 出発の決定
31	まとめ	進捗度確認 (2時数) No2
32	4. 飛行規程	1. 飛行規程 (1) 飛行規程の整備に関する事項
33		(1) 飛行規程の整備に関する事項 (2) 整備に関する限界事項の内容 (6) 飛行に必要な燃料及び滑油
34		
35		
36		(7) 性能の確認方法
37		(3) 規定される重量の種類 (4) 重量分布限界 (5) 重量・重心位置の算出方法
38		
39		
40		(7) 性能の確認方法
41		2. 追加飛行規程 (1) 追加飛行規程の整備に関する事項
42	まとめ	進捗度確認 (2時数) No3
43	5. 点検作業	1. 日常点検 (1) 点検の整備上の分類、目的及び作業
44		(1) 点検の整備上の分類、目的及び作業
45		
46		
47		(2) 点検作業の内容、準備及び作業
48		
49		
50		(3) 異常箇所発見時の処理要領 (4) 点検終了時の処置
51		
52		
53		(2) 点検作業の内容、準備及び作業
54		
55		
56		(2) 点検作業の内容、準備及び作業
57		
58	まとめ	進捗度確認 (2時数) No4
59	6. レビュー No1	1. 航空機の取扱い全般レビュー
60	6. レビュー No2	
61	6. レビュー No3	
62	6. レビュー No4	
63	6. レビュー No5	
64	6. レビュー No6	
65	6. レビュー No7	
66	6. レビュー No8	
67	6. レビュー No9	
68	6. レビュー No10	
69	6. レビュー No11	
70	6. レビュー No12	
71	6. レビュー No13	
72	6. レビュー No14	
73	点検作業実習	点検作業実習 (飛行前点検1回)
74		
75		
76		
77		点検作業実習 (飛行前点検2回)
78		
79		
80		